その他経費

計

31,960

32,460

36,660

36,660

36,110

合

特定財源

費

事務事業評価表

					- J -	373	٠,٠	· /ı		н I	1						
平	成13	3年度	主	要事業	計画対	象の	有無	無	▼				電話	042 (769)	8279)
1	担当部	課名	学校	交教育部		•		教耶	哉員		課	<u> </u>					-
事務事業名 教職員互助会補助金												事業	コード		141:	20	
1 総	画信合?	における	位置に	ブけ													
	文 策						子ども			す						事業開	射始年度
	基本施策		•	1 節 ゆとりある学校教育の創造 ~63 → 63									▼ 年度				
施 策 名 第 2 施策 小・中学校教育の充実																	
2 実施根拠及び関連法令等 地方公務員法第42条 (原生制度)																	
地方公務員法第42条(厚生制度) 相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則																	
3事業概要																	
(1)事業の目的 (2)対象(誰、何)																	
																学校教	敗職員互
				立された				員に対	र्ग के द	福利厚	生の充	で実の	ため	助会会	美		
狄 顿	[貝 旦 助]	云に刈り	ノ、 1用は	助金を交	211 U (しいつ	0										
														対象			. 1
														数		2396	込
(3)平成								_)総合	計画·到	実施記	画に	おける	概要		
_				て、前々	7年度0	の会費	収入と	:同額	なし								
(0)	補助金	を父打	した。														
									(5)個別計画の概要								
									<u>計 画 名 </u> 計画年次 年度~ 年度								
								計但	9年次			年月	麦~			年度	
4 計	平価指標																
		<u>ו</u>	1入率														
指	標名																
		今吕粉	/ (数+未加力	λ 老粉 \												
+=	4— = + c	云貝奴 /	(太良)	8X T /NJII /	八日奴)												
j je	標式																
		ከ□ λ 玹⁄?	の喜さ	を会員の	/ 港口店	= 0 −											
指相	標設定	加八年			ノ何化は	長い)一											
	意図	2 0214	1.1.	0 ,													
پ	· 1 == 1	+															
<u>5 </u>	標と実約	頁	1	77 ctt 4 4 fr	- min	- स	<u> </u>	: p#=		7 1 1 4 2 /-	中 / 5	T/=-	色牙点	= \			午年
			<u> </u>			成12年度 実 績			平成13年度(評価文 実				平成14年度 目 標				
	指標	_		天 🏗	9 9	,	天 似	貝 99	а	天	9 9	b	<u> </u>	票 100		Ħ	100
	<u>珀 惊</u> 指 標				JJ			00	C		33	d		100			100
	指標								e			f					
	····································		ă	24	,950		22	2,450		26	,650		26	6,650			36,100
					•			•			-						•
事		時間数		2時間		ļ	2時間			2時間			2時間			2時	
業	<u>人</u>	牛費			10			10			10			10			10
-																	

6 個別評価									
	・・・目標をどれだけ道	₫成したか	١						
評価	A:達成している		100%)						
B ▼	B:一部達成している	= .	ω_{2}	区长	直 =	99.0%			
D 🔻	C:達成していない	(80%>	> 80%)	_ `	· 0)-		ㅁ _	99.0%	
		(80%>)						
<u>a</u>	99.0 × 100=	99.0%	<u>C</u>		-× 100=	=		<u>e</u> × 100=	
b	100.0		d					†	
理由:	│ 補助金の交付により、 のことは、加入率の高さ			(が充実し、運営	営が円滑	に行れ	っれて	いることで、事業の目的は達成して	いる。そ
(2)必要性	i···・時代変化に適応し	」た事業[内容か						
評価	A:適応している	理由:	教職員(の福利厚生を	充実させ	せるた	めに	、教職員互助会への補助金の3	交付は必
A 🔻	B:一部適応していない		要である。						
	C : 適応していない								
(3)経済性	ŧ·効率性···費用対效	果は妥当	当か						
評価	A:妥当である	理由:	補助金	の交付により、	充実した	た事業	業が行	「われており、補助金の効果は ⁻	十分ある
A ~	B:一部妥当でない		と考えられ	เる。					
	C : 妥当でない								
(4)事業の)代替性・・・県、民間と	の役割分	分担のあり)方から見て、	市が実施	施して	CLI (ことが適当か	
評価	A:代替の可能性ない	理由:	市立学	校の教職員が	会員で	あるた	こめ、	市からの補助が適切である。	
	B:代替の可能性低い		., ,	12 - 12 14 22 16			、		
	C:代替の可能性高い								
(5)市民湯	最足度・・・対象市民の	満足は得	られてい	るか					
評価	A:満足できる	理由:			が円滑	に行	hh.7	ており、対象市民の満足は得られ	2.71.1
A -	B:一部満足できない	ж н.	る。	70) Z 0) Œ 🗆	ומונונוו	(C)	1240		000
Α •	C:満足できない		o .						
(6)有効性	ま・・・・当該事業は上位(の施策を	実現する	トで有効か					
評価	A:有効である	理由:			が暗昌が	十分	に能	力を発揮できる環境を整えるこ	トで 学
A ▼	B:一部有効である			充実を図るこ			IC HE	/]で元年ででる場外で歪んるこ	- C' T
Λ 🔻	C:有効でない		化教育の	九天で囚るこ		⊘ ₀			
	C. HW CAVI				成果向	ι⊢σ	今抽		
評価バ	ハノスノドード	成度			ル木門	<u> </u>			
	A	+			l	_		説明:	- 1-19 1 3
	D					あ	る	現在の方法で、十分効果をあ	אוד כנו
	月効性 、,	<u> </u>			_	4		ると思われる。	
	C				✓	な	11		
	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	† ,/							
					L				
					コスト	久善 ?			
	/ c	ļ						説明:	
	市民満足度		好 沒 沒	·効率性		あ	る	現在の方法で、十分効果をあり	げている
	В	 	紅月日	が手圧	_			と思われる。	
					✓	な	L١		
	Α								
	事業の)代替性							
7 総合評(·····································				-				
, MC 1111	<u> </u>		他市に	おいても 教照	発量の温	利庫	生の	ため互助会を組織しており、その	の充実の
	AAA ▼	他自治		市と同様に補					, , lo , C VJ
評価	'		ために本		<i>₩</i>) 37 5	~ ⊂ 1	J > C V O 0	
RI IM		体の類							
		似事業							

評価	AAA	—	他自治 体の類 似事業 との比	他市においても、教職員の福利厚生のため互助会を組織しており、その充実のために本市と同様に補助金交付事業を行っている。
4	後の進め方		較	
✓	継	続		
<u> </u>				補助金によって、教職員互助会の運営が円滑に行われている。そのことが教職
	見直	b		員の厚生活動の向上に役立っており、引き続き、補助金の交付を続けることが必要である。
	廃」	止	説明	
	完	7		

8二次評価における変更点